

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 杉田 公敬
環境-24 名越クリーンセンター管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境センター
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 環境部各課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる

2 平成26年度に実施した事業の概要

名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	406,982	決算値(千円)	273,534	
	国県支出金	0	国県支出金		
	地方債	0	地方債		
	その他	89,343	その他	66,323	
	一般財源	317,639	一般財源	207,211	
事業経費運営	人員配置数	8.2	人員配置数	10.2	
	人件費(千円)	65,825	人件費(千円)	80,081	
	総事業費(千円)	472,807	総事業費(千円)	353,615	
	市民1人当りの経費(円)	2,668	市民1人当りの経費(円)	1,993	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	延命化工事後の管理運営体制の確立並びに管理棟の耐震化及びごみ荷下場の復元	
課題解決のために行った平成26年度の取組	管理運営体制に当たっては、技能労務職退職者不補充を念頭に平成27年3月から維持管理業務を一部委託化する等、拡大化を図った。管理棟の耐震化及びごみ荷下場の復元については、平成27年7月の延命化工事完成を見据え、建物の事前調査やレイアウト等を検討を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	名越クリーンセンター1施設で市内のごみを確実に処理していくため、今泉クリーンセンターからのごみの搬送計画を含めた搬入ごみ量(ごみピット)の適正管理、各機器の予防保全計画及び実施及び故障・緊急時の体制強化を図っていく必要がある。	

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算の大部分を占める光熱水費、消耗品費及び維持修繕料については、概ね焼却量に比例するが、これが将来的に横ばいであるため。	
総評	ごみ処理は、廃掃法に義務付けられた市町村の業務であり、かつ、市民生活に欠かす事の出来ないものであることから、ごみの焼却に当たっては、周辺住民との間で平成27年4月1日に締結した協定に基づき、年間焼却量上限値30,000トンを見据え、適正にこれを行っていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	1炉1時間当たりの焼却量の確保						単位	kg/h	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
ごみを確実に処理していく必要があるため。	目標値	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0				
	実績値	2,535.9									
	達成率	101.4%									
指標の内容	ごみ1トン当たりの処理にかかる電力使用量の削減						単位	kwh	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
基幹的設備改良工事の効果を確認していく必要があるため。	目標値	180.0	140.0	140.0	140.0	140.0	140.0				
	実績値	175.6									
	達成率	97.6%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	電気使用量については平成24年度比(基幹的設備改良工事前)でおよそ2割削減した値で管理しています。指標の傾向としては横ばいになりますが、これを確保しつつ適正なごみ処理を行っていきます。										

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---